

[連載] 第9回

清々しき人々

月尾嘉男 (東京大学名誉教授・工学博士)

現在も台湾で崇拝される技師・

八田 與一



八田與一 (1886-1942)

治水こそ国家の要諦

中国の史書に記録されている最古の王朝は四〇〇〇年前に成立した「夏」で、その始祖は「禹」とされています。全長五四六〇キロメートルもある黄河は現在でも時々氾濫するほどで、古来中国には「黄河を治むる者は天下を治む」という言葉があるように、黄河の治水は歴代王朝の重要な国家事業でした。禹は父親が失敗した黄河の治水を成功させ、現在でも「治水神」として尊敬される名君で、日本にも全国各地に禹を顕彰する石碑があるほどです。



図1 台湾総督府

産業振興に必要な水利事業

ですが、この溜池は実際に空海が八二一年に指揮して改修したとされています。日本でも降雨が少量で有名な香川で農業が維持されているのは多数の溜池の恩恵です。

現在、台湾と中華人民共和国は複雑な関係ですが、一八九五年に清国が日清戦争で敗戦して日本に割譲され、一九四五年に太平洋戦争で日本が敗戦するまでの五〇年間は日本が統治していました。初期には日本の支配に反対する抗日武装運動などが発生しますが、日本は台湾総督府を設置し(図1)、樺山資紀、桂太郎、乃木希典、兒玉源太郎、明石元二郎など大物の軍人を総督とするとともに、社会基盤の整備や産業振興を推進し統治していきます。

八田が構想した巨大計画

卒業とともに八田は台湾総督府内務局土木部に技手として就職しますが、当時の台湾は衛生状態が劣悪であったため、当初、八田も上下水道の整備などを担当しました。しかし、二八歳と年少ながら一九一四年に桃園大圳の水利工事を担当し、技師としての評価を獲得します。そして三二歳となった一九一七年から生涯をかけて巨大事業となる嘉南平野の灌漑事業への挑戦を開始します。

石碑に凝縮する八田の精神

八田は一九一七年から三年かけて綿密な現地調査を実施し、三四歳になった一九二〇年から烏山頭貯水池を実現するダム建設を開始しますが、翌年、アメリカに出張し、当時の最新の技術を取り入れて帰国し、所長として



図2 嘉南平野

台湾の面積は三万六〇〇〇平方キロメートルで九州と同等ですが、その南西に嘉南平野といわれる面積四五〇〇平方キロメートルの広大な平原があります。

和歌山県に匹敵する平原です(図2)。しかし、日照時間も不足しており、かつ土壌が塩分を含有しているという土地です。しかも雨量が年間二〇〇〇ミリメートル程度はあるのですが、雨期には川底まで干上がったで、乾期には川底まで干上がったで、農業には不適な地域でした。八田は現地を詳細に調査し、嘉南平野に安定した水利をもたらされれば、台湾の穀倉地帯として発展することができると構想し、「嘉南平野開発計画」を策定します。その内容は嘉南平野の中心都市台南の北部の溪谷にダムを建造し、そこから平野全体に水路を縦横に整備すれば可能だという内容でした。この事業の費用は当時の台湾総督府の年間予算総額の三割に相当する四二〇〇万円と見積もられた巨大事業でした。

好評発売中! メディア分光器... 水鳥久光著 定価 本体2200円十税

望星 6月号 5月15日発売 定価600円(送料556円) 特集 いとしの愛三岐 新三都物語

幕末のジャンヌ・ダルク 新島八重の生涯 吉村康著 好評発売中

マンガで一発回答! 2020年大学入試改革丸わかりBOOK 松永暢史

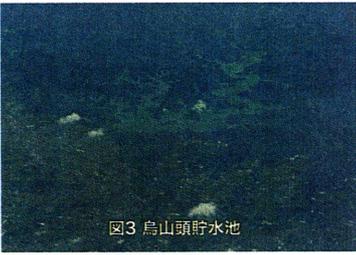


図3 鳥山頭貯水池



図4 現代の嘉南平野



図5 八田與一銅像

現地に居住して工事の指揮をとります。その工事現場には、土砂を運搬するために何本もの蒸気鉄道が敷設され、八田がアメリカで購入してきた最新のパワールシヨベルやタンブカーなどの大型土木機械が投入されました。現在では、どの工事現場でも見掛ける土木機械ですが、当時は使用経験がないため、アメリカの技師が操作し、東洋の人間教育することはありませんでした。しかし八田は現場の人々を叱咤激励して学習させ、次第に操作ができるようになり、次第に、八田は多岐になると工事関係の人々の住居を訪問して雑談するだけでなく、花札などの博打にも付合っていました。

一九二二年二月、先行して工事が進行していた鳥山嶺隧道の工事現場で地中からガスが噴出し、灯油ランタンの灯火が引火してトンネル内部で爆発事故が発生したのです。その結果、五〇余名が死亡しました。工事を継続するかどうかまで議論される事態でしたが、八田は陣頭指揮で事故処理に奔走し、その表裏ない人柄が信頼されていたため、現地の人々の継続への熱望で工事は進行していききました。工事が完成間近になった一九三〇年三月、工事の期間に殉職した一三四名の現場の人々や家族を慰霊する石碑が建立されました。そこでは役職による差別や日本人や台湾人の区別もなく、逝く人の順番に名前が列挙され、八田の人柄を表明しています。さらに石碑には八田の文章も刻字されていますが、最後の部分に「諸子の名も亦不朽なるへし」との文言があります。すべての人々を敬愛していた八田の精神が凝縮している言葉です。

現在も崇拜される技師

一九二三年九月一日、首都東京に巨大地震が襲来し、死者・行方不明が一〇万余とされる災害が発生しました。その支援のために台湾総督府の年間予算の三割を復興支援とすることになり、ダム工事を縮小し、現場の人々の半数を解雇せざるを得ない事態になりました。ここでも八田は解雇する人々の再就職先を手当てするために奔走し、工事再開になったときには優先して再度雇用するという約束までしています。これら何度も危機を克服しながらの一年間の工事により、一九三〇年四月に八田ダムという通称もある鳥山頭ダムが完成しました。これは六年後にアメリカのコロラド渓谷にフーバーダムが完成するまで世界最大のダムで、アメリカの土木学会から工法についての論文の執筆を要請されるほどの偉業でした。ダムによって一三〇〇ヘクタールの湖水面積をも鳥山頭貯水池が実現しましたが、これは阿寒湖や諏訪湖に匹敵する面積です(図3)。

ダムの竣工から約四〇日目で灌漑が終了し、一〇〇万人近い農民が耕作する一八〇〇平方キロメートルの農地に全長一万六〇〇キロメートルの水路を経由して農業用水が到達します。その水利により従来とは相違する耕作をする必要がありましたが、それを現地で指導したのは東京農業大学を卒業し、一九二七年から台湾の製糖会社に就業していた技師中島力男でした。その指導の効果によって稲作は以前の六倍、甘藷は二倍になります(図4)。

巨大事業を完成させた八田は台北で技師を教育する土木測量技術員養成所という民間学校を設立して人材の養成に尽力しますが、太平洋戦争の勃発とともに一旦、単身で日本に帰国し陸軍の命令でフィリピンに赴き、作灌漑調査のため三人の部下とともに広島市宇品港から「大洋丸」に乗船してフィリピンに出発します。しかし、五島列島付近でアメリカ軍潜水艦の魚雷攻撃により撃沈、一九四二年五月八日、五六歳の人生を終ります。さらなる悲劇が発生します。子供とともに台湾に残留した外子と樹夫人はダムの工事現場の職員宿舎に疎開していましたが、日本の敗戦から二週間後に次男が復員した翌日の一九四五年九月一日、子供たちに遺書を残し、黒服と白足袋の正装で湖水に投身されました。四五歳で、工事が完成した翌年の一九三一年に八田の銅像は湖畔に設置されましたが、さらに夫人が逝去された一九四六年には、地域の人々により日本の形式の夫妻の墓石が建立されています。



参考：山野之義「八田與一との出会い」

中華民国になってからは、日本の遺物は破壊され、隠して保存し、一九八一年元旦に以前の場所に設置されたのです。さらに墓石には日本の黒御影石が使用されています(図5)。

いかに八田が尊敬され、業績が評価されているかを証明すると同時に、台湾の人々の報恩の精神に感動します。台湾の中学生用教科書には八田の業績が紹介され、二〇〇八年に八田の命日の慰霊祭に参加した馬英九総統はダム建設当時の宿舎を復元して「八田與一記念公園」を建設すると言明し、二〇一一年の命日に完成し、夫人の銅像も建立されました。そして現在も命日には、日台双方の参加により、墓前で法要の式典が開催されているのです。

つぎお よしお
一九四二年生まれ。一九六五年東京大学工学部卒業。工学博士。名古屋大学教授、東京大学教授などを経て東京大学名誉教授。二〇〇二、〇三年総務省総務審議官。これまでコンピュータ・グラフィックス、人工知能、仮想現実、メディア政策などを研究。全国各地でカヌーとクロスカントリースキーをしながら、知床半島、羊蹄山麓、釧路温泉、白馬仰山、宮川清流、瀬戸内海などを主筆し、地域の有志とともに環境保護や地域計画に取り組み。主要著書に「日本 百年の転換戦略」(講談社)、「縮小文明の展望」(東京大学出版会)、「地球共生」(講談社)、「地球の救い方」(水の話) (遊行社)、「100年先を読む」(マロロジ研究所)、「先住民族の叢智」(遊行社)、「誰も言わなかった本当の戦争のクラリ」(アスキー)、「日本が世界地図から消滅しないための戦略」(致知出版社)など。最新刊は「航海物語」(遊行社)。

月刊新聞『MORGEN』を定期購読しませんか？

MORGENは先生と生徒が共有する、読書を柱とした、人間の生き方を考える新聞です。生徒会担当教諭、図書館担当教諭を通して生徒に配布しています。読書や社会情報を通し、子どもたちの視野を広げ、みずから社会の一員である自覚と、ものごとを客観的に見、聞き、考える目を育てることを目的としています。

- 媒体種別：月刊紙(毎月1回発行 ※7・8月は合併号) タブロイド判 12~20ページ
- 読者対象：中・高・大・専門学校生、小・中・高校教諭

全国の中学・高校、図書館・青少年センターなどの諸施設
大学・短大・専門学校・サポート校、個人購読者など、
教育現場や公共施設などで活用されています

購読費 (年間購読)

年度途中の申込可、送料込

300円×11回×1.08(税)

年間11回発行7・8月は合併号

3,564円(税込)

*一部売りは540円(税込)

★購読費を県費でお支払いいただいている学校さんもあります。県への依頼送付書などはこちらでご用意できますので、ぜひご相談下さい。